

特開平7-56888

(43)公開日 平成7年(1995)3月3日

(51)Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 17/00		8724-5L	G 0 6 F 15/ 20	Z

審査請求 未請求 請求項の数 2 OL (全 9 頁)

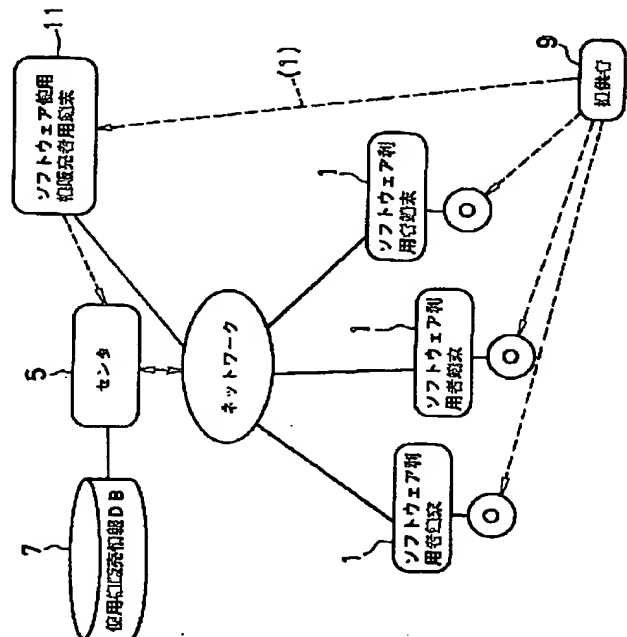
(21)出願番号	特願平5-199774	(71)出願人	000004226 日本電信電話株式会社 東京都千代田区内幸町一丁目1番6号
(22)出願日	平成5年(1993)8月11日	(72)発明者	金井 敏 東京都千代田区内幸町1丁目1番6号 日 本電信電話株式会社内
		(72)発明者	市川 晴久 東京都千代田区内幸町1丁目1番6号 日 本電信電話株式会社内
		(72)発明者	平川 豊 東京都千代田区内幸町1丁目1番6号 日 本電信電話株式会社内
		(74)代理人	弁理士 三好 秀和 (外1名)

(54)【発明の名称】 ソフトウェア使用権の流通方法および装置

(57) 【要約】

【目的】 ソフトウェア実体を購入するのではなく、ソフトウェアの使用量に応じた使用権を購入する方式においてソフトウェアの使用時に使用権販売者をその場で選択可能として、複数の使用権提供者による競争や広告活動等を促進し、ソフトウェアの使用権の流通性を向上するソフトウェア使用権の流通方法および装置を提供する。

【構成】 ソフトウェア提供者 9 が使用権販売者に対して使用権数を販売し、使用権販売者はその使用権数だけ使用権を販売する権利を取得し、使用権販売者はソフトウェア ID、課金情報および使用権数をセンタ 5 の使用権販売情報データベース 7 に設定し、ソフトウェア利用者がソフトウェアを使用する時、ネットワーク 3 を介してセンタ 5 に接続して、ソフトウェア ID、被課金者 ID および使用権販売者 ID をセンタ 5 に送信し、使用権販売情報データベース 7 に登録されている使用権販売者 ID の使用権数を減算することによりソフトウェアを使用するときに使用権販売者を選択することができる。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 センタおよび端末を介してソフトウェア使用権販売者およびソフトウェア利用者をネットワークで接続し、

前記センタに使用権販売情報データベースを設け、ソフトウェア提供者は提供するソフトウェアを一意に識別するソフトウェア ID を該ソフトウェアに付与し、ソフトウェア使用権販売者に予め単位回数または単位時間だけ使用する権利である使用権を販売し、

ソフトウェア使用権販売者は自分を一意に識別する使用権販売者 ID とともに前記ソフトウェア ID、前記使用権の合計数である使用権数を前記使用権販売情報データベースに格納し、ソフトウェア使用権販売者または第 3 者が提供するソフトウェアを前記ソフトウェア ID とともにソフトウェア利用者に配布し、

ソフトウェア利用者は利用希望の前記ソフトウェアと前記使用権販売者 ID を選択し、予め設定した自端末を一意に識別する被課金者 ID とともに前記ソフトウェア ID と前記使用権者 ID をセンタに送信し、

前記センタは前記ソフトウェア ID と前記使用権販売者 ID を受信し、前記使用権販売情報データベース中の対応する前記使用権数が 0 になっていない場合には、前記使用権数を減算し、前記使用権数が 0 である場合には、その旨をソフトウェア利用者に通知して通信を終了することを特徴とするソフトウェア使用権の流通方法。

【請求項 2】 ソフトウェア使用権販売者用端末、ソフトウェア利用者用端末およびセンタを接続するネットワークと、

前記センタに設けられている使用権販売情報データベースと、

使用権販売者を一意に識別する使用権販売者 ID とともに、ソフトウェアを一意に識別するソフトウェア ID、ソフトウェアを単位回数または単位時間だけ使用する権利であり、ソフトウェア提供者から購入した使用権の合計である使用権数を前記使用権販売情報データベースに格納する前記ソフトウェア使用権販売者用端末と、利用希望のソフトウェアと前記使用権販売者 ID を選択し、ソフトウェア利用者の予め設定した端末を一意に識別する被課金者 ID とともに前記ソフトウェア ID と使用権販売者 ID を前記センタに送信するソフトウェア利用者用端末と、

前記ソフトウェア ID と使用権販売者 ID を受信し、前記使用権販売情報データベース中の対応する前記使用権数が 0 になっていない場合には、前記使用権販売情報データベース中の使用権数を減算し、前記使用権数が 0 である場合には、その旨をソフトウェア利用者へ通知して通信を終了するセンタとを有することを特徴とするソフトウェア使用権の流通装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、ソフトウェア使用希望者がソフトウェア使用時に最もよい条件のソフトウェア販売者を選択可能にするとともに、また買取り形態でなく、ソフトウェアの使用量のみに応じた課金とすることによりソフトウェアの流通性を高めるソフトウェア使用権の流通方法および装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、ソフトウェアの販売においては、ソフトウェアの利用者に対してソフトウェアの実体を渡して、その使用権を販売するという買取り方式の流通形態が取られている。また、買取り方式ではなく、使用に応じて課金する方法では、従来、ネットワークを介して即時に課金を行うものはない。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 従来提案されている使用に応じて課金する方法においては、予め特定の使用権販売者用の IC カード等を購入しておく必要があり、使用時にその場でより有利な使用権販売者を選択できないため、使用権の流通性が悪いという問題がある。

【0004】 本発明は、上記に鑑みてなされたもので、その目的とするところは、ソフトウェア実体を購入するのではなく、ソフトウェアの使用量に応じた使用権を購入する方式においてソフトウェアの使用時に使用権販売者をその場で選択可能として、複数の使用権提供者による競争や広告活動等を促進し、ソフトウェアの使用権の流通性を向上するソフトウェア使用権の流通方法および装置に関する。

【0005】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するため、本発明のソフトウェア使用権の流通方法は、センタおよび端末を介してソフトウェア使用権販売者およびソフトウェア利用者をネットワークで接続し、前記センタに使用権販売情報データベースを設け、ソフトウェア提供者は提供するソフトウェアを一意に識別するソフトウェア ID を該ソフトウェアに付与し、ソフトウェア使用権販売者に予め単位回数または単位時間だけ使用する権利である使用権を販売し、ソフトウェア使用権販売者は自分を一意に識別する使用権販売者 ID とともに前記ソフトウェア ID、前記使用権の合計数である使用権数を前記使用権販売情報データベースに格納し、ソフトウェア使用権販売者または第 3 者が提供するソフトウェアを前記ソフトウェア ID とともにソフトウェア利用者に配布し、ソフトウェア利用者は利用希望の前記ソフトウェアと前記使用権販売者 ID を選択し、予め設定した自端末を一意に識別する被課金者 ID とともに前記ソフトウェア ID と前記使用権者 ID をセンタに送信し、前記センタは前記ソフトウェア ID と前記使用権販売者 ID を受信し、前記使用権販売情報データベース中の対応する前記使用権数が 0 になっていない場合には、前記使用権数を減算し、前記使用権数が 0 である場合には、その旨

をソフトウェア利用者に通知して通信を終了することを要旨とする。

【0006】また、本発明のソフトウェア使用権の流通装置は、ソフトウェア使用権販売者用端末、ソフトウェア利用者用端末およびセンタを接続するネットワークと、前記センタに設けられている使用権販売情報データベースと、使用権販売者を一意に識別する使用権販売者IDとともに、ソフトウェアを一意に識別するソフトウェアID、ソフトウェアを単位回数または単位時間だけ使用する権利であり、ソフトウェア提供者から購入した使用権の合計である使用権数を前記使用権販売情報データベースに格納する前記ソフトウェア使用権販売者用端末と、利用希望のソフトウェアと前記使用権販売者IDを選択し、ソフトウェア利用者の予め設定した端末を一意に識別する被課金者IDとともに前記ソフトウェアIDと使用権販売者IDを前記センタに送信するソフトウェア利用者用端末と、前記ソフトウェアIDと使用権販売者IDを受信し、前記使用権販売情報データベースの中の対応する前記使用権数が0になっていない場合には、前記使用権販売情報データベースの中の使用権数を減算し、前記使用権数が0である場合には、その旨をソフトウェア利用者へ通知して通信を終了するセンタとを有することを要旨とする。

【0007】

【作用】本発明のソフトウェア使用権の流通方法および装置では、ソフトウェア提供者が使用権販売者に対して使用権数を販売し、使用権販売者はその使用権数だけ使用権を販売する権利を取得し、使用権販売者はソフトウェアID、課金情報および使用権数をセンタの使用権販売情報データベースに設定し、ソフトウェア利用者がソフトウェアを使用する時、ネットワークを介してセンタに接続して、ソフトウェアID、被課金者IDおよび使用権販売者IDをセンタに送信し、使用権販売情報データベースに登録されている使用権販売者IDの使用権数を減算することによりソフトウェアを使用するときに使用権販売者を選択することができる。

【0008】

【実施例】以下、図面を用いて本発明の実施例を説明する。

【0009】図1は、本発明の一実施例に係わるソフトウェア使用権の流通方法を実施するシステムの全体構成を示す図である。同図に示すシステムは、ソフトウェアを使用するユーザの端末装置であるソフトウェア利用者用端末装置1を有し、該端末装置1には使用したいソフトウェア1aがあり、このソフトウェアには該ソフトウェアを一意に識別するソフトウェアIDが設けられている。また、端末装置1は前記ソフトウェア1aを作動させる装置であるパソコン+OS/CDプレーヤ1bを有し、該装置1bから接続装置1cを介してネットワーク3に接続され、該ネットワーク3から更にセンタ5に接

続されている。なお、CDプレーヤは流通対象のソフトウェアがCDの場合に使用されるものである。

【0010】センタ5には使用権販売情報データベース7が設けられ、該使用権販売情報データベース7には図示のように使用権販売者IDに対応してソフトウェアID/曲目ID(CDの場合)、課金情報、使用権数残高等が蓄積されている。

【0011】図2は、図1に示すシステムのソフトウェア使用権の流通方法を示す説明図であるが、図1に示すものに加えて、ソフトウェアを提供するソフトウェア提供者9および該ソフトウェア提供者9から提供されるソフトウェアを単位回数または単位時間だけ使用する権利である使用権を購入し、販売するソフトウェア使用権販売者用の端末であるソフトウェア使用権販売者用端末11が示されている。

【0012】図1および図2において、ソフトウェア提供者9はソフトウェア使用権販売者に使用権を販売する(図2の点線(1)で示すように)。使用権販売者またはセンタ5の運営者は端末を用いて使用権販売情報データベース7に使用権販売者ID、ソフトウェアID、課金情報、使用権数を登録する。但し、使用権販売者IDに対応して、組織名、所在地等も登録する。それから、ソフトウェア提供者9はソフトウェアIDとその他センタへ自動接続するソフトウェア等の必要な情報が入ったソフトウェアをユーザであるソフトウェア利用者に配布する。なお、この場合、センタ5を経由したオンライン配布でもよい。

【0013】そして、ソフトウェア利用者用端末装置1でソフトウェアを使用する時には、配布されたソフトウェアからソフトウェアID、端末装置1から予め設定された被課金者ID(ユーザIDを兼ねる)、ソフトウェア利用者が選択して入力した使用権販売者IDを取得し、センタ5に送信する。センタ5の運営者は履歴情報等に基づいてソフトウェア利用者へ課金処理するとともに、使用権販売者に支払処理を行う。

【0014】次に、流通ソフトウェアがアプリケーションソフトウェアである場合の作用を図1、2および図3に示す流れ図を参照して説明する。

【0015】ソフトウェア提供者9は予め提供するソフトウェアにソフトウェアIDを設定しておく。また、センタ5に設けられている使用権販売情報データベース7には使用権販売者ID毎にそのソフトウェアIDと使用権数(本実施例では、Xとする)を設定する。そのソフトウェアIDは全世界でそのソフトウェア種別に対して一意に定められるものであり、例えばAメーカーのゲームソフトBの場合には、0001-0000000Q12のようにメーカーIDとソフト種別IDからなる。

【0016】なお、課金情報は、ソフトウェアの使用回数や使用時間等の使用量に応じて課金金額を決める方法であり、予め設定しておくものである。

5

【0017】図3に示すように、ソフトウェア利用者がソフトウェアを使用する時には、配布されたソフトウェア実体が入った媒体をソフトウェア利用者が端末装置1にセットし、該媒体内に格納されているソフトウェア一覧表を端末装置1に表示する。そして、ソフトウェア利用者がその中で使用したいソフトウェアを指定すると、端末装置1からセンタ5に自動的に接続し、指定されたソフトウェアのソフトウェアID、被課金者ID（端末装置1に接続されている接続装置1c等に設定された端末IDまたはICカード等に記録されているユーザIDまたはそれらの組合せ等が被課金者IDの例であり、予め設定されているものとする）、およびユーザが入力した予め広告等で得た使用権販売者IDをセンタ5に送信する。

【0018】センタ5では、図4に示すように、使用要求を受信すると、使用権数の残高をチェックし、残高が0より大きい場合には、センタ5の使用権販売情報データベース7に記録されている使用権数残高を減算する（すなわち、本実施例では、X-1とする）。その料金はセンタ5の履歴情報等に基づいて後でカード、銀行引き落とし、請求書等の伝票としてユーザに渡されて回収される。また、使用権販売情報データベース7の使用権数の残高が0の場合には、その旨ユーザに通知し、使用権販売を停止して処理を終了する。

【0019】なお、上述した処理においては、通信やソフトウェアに対して偽造、不正課金、不正使用等を防止する暗号化等の適当な防御策が講じられてあるものとする。

【0020】次に、図5を参照して、対象とするソフトウェアがCDの場合の処理について説明する。

【0021】CD提供者は、予め提供するCDに前記ソフトウェアIDに対応する曲目CDを設定しておく。また、センタ5の使用権販売情報データベース7には使用権販売者ID毎にその曲目ID、課金情報（本実施例では、1回の使用当たりY円という情報とする）、および使用権数（本実施例では、Xとする）を設定する。

【0022】そして、ユーザがCDを聞く場合には、図5に示すように、CDをCDプレーヤにセットし、CD内に格納されている曲目一覧をCDプレーヤに表示する。ユーザはその中で使用したい曲目を指定すると、CDプレーヤからセンタ5に自動的に接続が行われ、その曲目ID、被課金者ID（CDプレーヤまたはICカー

6

ドに記録されているものとする）、およびユーザが予め広告等で得た使用権販売者IDをセンタ5に送信する。

【0023】センタ5では、前述した図4に示すように、使用要求を受信すると、使用権数の残高をチェックし、残高が0より大きい場合には、センタ5の使用権販売情報データベース7に記録されている使用権数残高を減算する（すなわち、本実施例では、X-1とする）。その料金はセンタ5の履歴情報等に基づいて後でカード、銀行引き落とし、請求書等の伝票としてユーザに渡されて回収される。また、使用権販売情報データベース7の使用権数の残高が0の場合には、その旨ユーザに通知し、使用権販売を停止して処理を終了する。

【0024】なお、上述した処理においては、上述と同様に、通信やソフトウェアに対して偽造、不正課金、不正使用等を防止する暗号化等の適当な防御策が講じられてあるものとする。

【0025】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、ソフトウェアを使用する時にネットワークを介してセンタに接続し、その場で使用権販売者を選択し、選択された使用権販売者の有する課金情報に応じて課金するので、ユーザはソフトウェア使用時に最も有利な条件でソフトウェア利用権を選択することができ、ソフトウェア使用権の流通性を向上することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例に係わるソフトウェア使用権の流通方法を実施するシステムの全体構成を示す図である。

【図2】図1に示すシステムのソフトウェア使用権の流通方法を示す説明図である。

【図3】ソフトウェアがアプリケーションソフトウェアである場合のセンタと端末装置との間の通信手順を示す流れ図である。

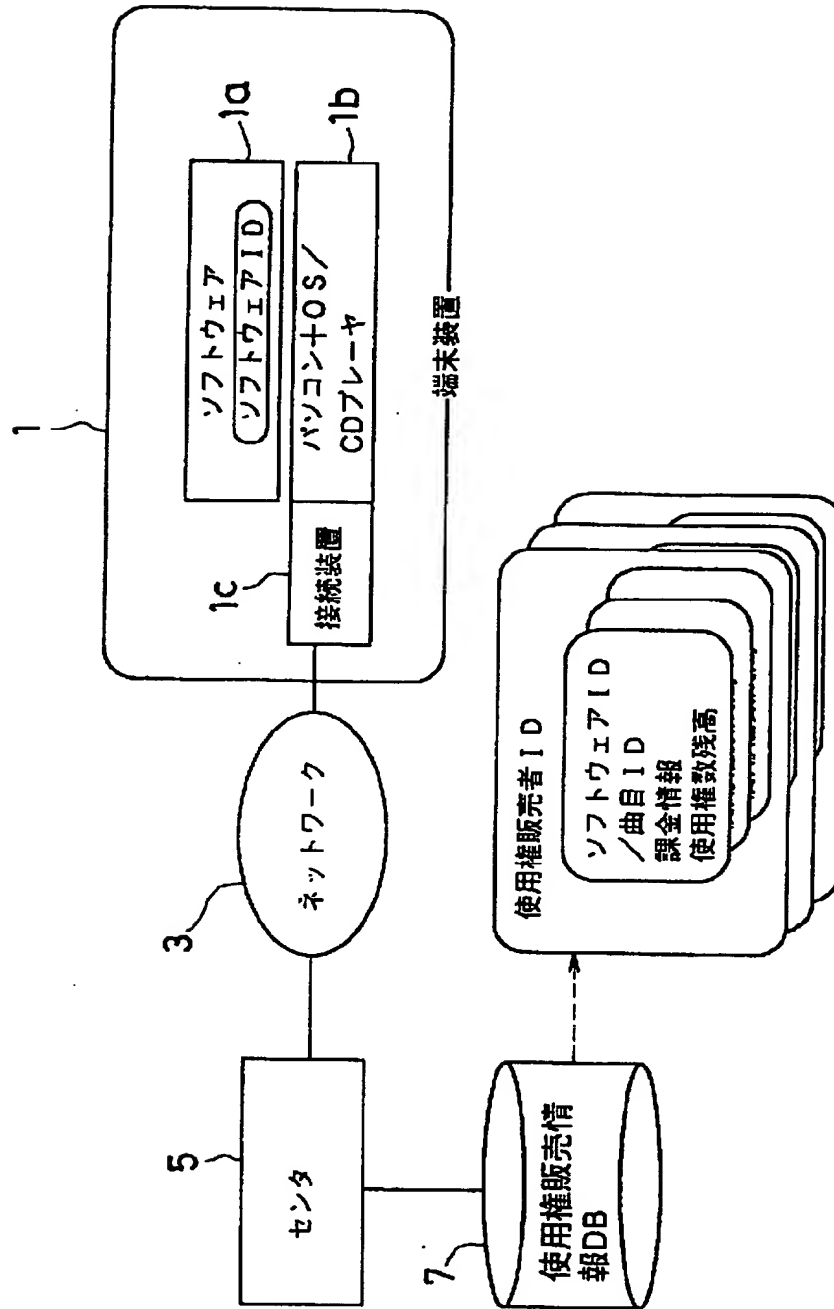
【図4】センタの動作を示すフローチャートである。

【図5】ソフトウェアがCDである場合のセンタと端末装置との間の通信手順を示す流れ図である。

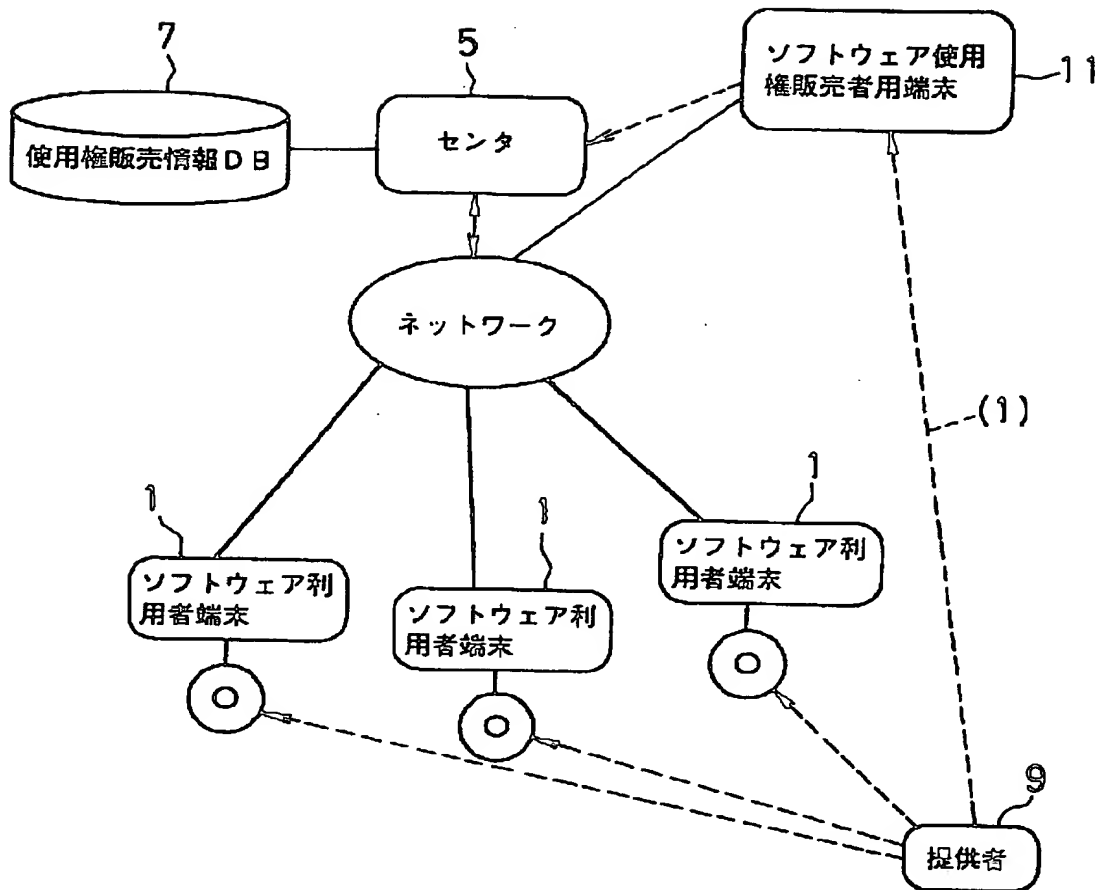
【符号の説明】

- 1 ソフトウェア利用者用端末装置
- 3 ネットワーク
- 5 センタ
- 7 使用権販売情報データベース
- 11 ソフトウェア使用権販売者用端末

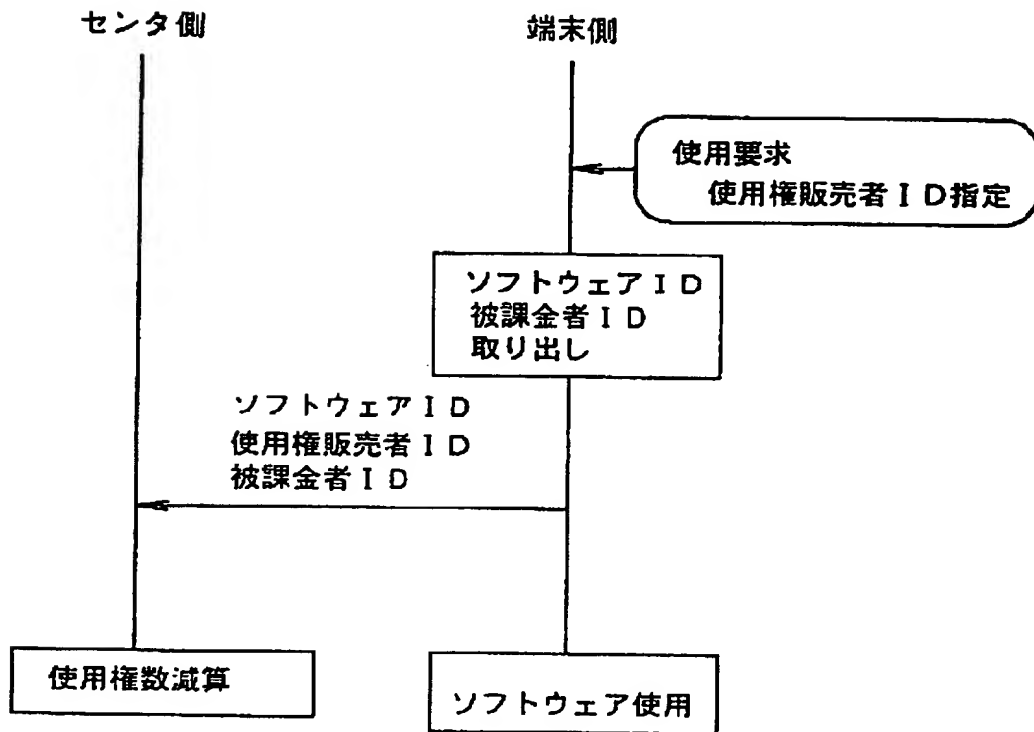
【図 1】



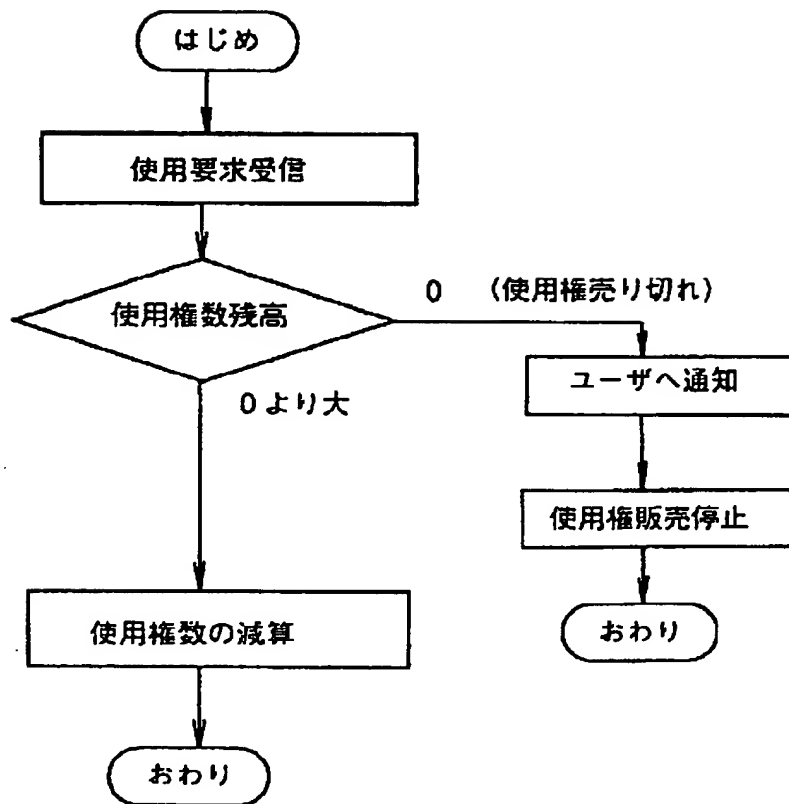
【図 2】



【図 3】



【図 4】



【図 5】

